

血管外科 診療枠拡大のお知らせ

毎週木曜日 13：30～17：00

毎週土曜日 8：30～12：00

の外来診療を担当します。

治療内容：**閉塞性動脈硬化症**や**下肢静脈瘤**

などの末梢血管疾患の治療を専門に行います。

手術も行っていますのでご相談ください。

担当医師：木曜日 松下 恭 医師（獨協医科大学）

土曜日 堀 貴行 医師（獨協医科大学）

【閉塞性動脈硬化症とは・・・】

動脈硬化によって下肢への血液の流れが悪くなり、初期症状として冷感・しびれ、歩行障害などが起こる病気です。症状によっては加齢が原因と考えられていたり、整形外科の病気と勘違いされて治療を受けている場合もあります。

【下肢静脈瘤とは・・・】

動脈は心臓から押し出された勢いで血液が流れていきますが、静脈にはそのような勢いがありません。筋肉の収縮と静脈に存在する逆流防止弁（一方弁）によって全身の組織から血液を心臓に戻します。その弁が種々の原因によって壊れてしまうことで、静脈血の逆流を引き起こし、静脈が瘤化してしまったものを下肢静脈瘤と言います。軽症である無症状のものから、足がつりやすい、むくむ、痛いなどの症状を伴う中程度のもの、皮膚に湿疹や潰瘍ができる重症のものまであります。

